

「練習の成果を発揮」

「どんな状況でも強気な姿勢を忘れない」県予選に臨む際にメンバー全員で決めたプレイスタイルだ。大会に向けて、四股やすり足など相撲において基本的な技術の向上に力を入れた。自分たちの力を信じ、部員全員が声を掛け合い、つらい練習を乗り越えた。迎えた県大会では、団体が優勝し東北・全国大会出場、総合個人で武山が全国大会出場、3年個人では武山、永谷、中澤が東北大会出場を決めた。「練習の成果が出て良かった。気を緩めず今後も練習していく」と永谷は気合いを入れ直した。続く東北大会では、個人に出場した3人は予選で敗れたが、団体は3位という結果を残した。全国大会では、団体、総合個人ともに勝ち進むことができなかったが、「全国の大舞台に立つことができてうれしかった。この経験を東北選抜相撲大会に生かしたい」と武山は次の大会を見据えた。「どんなに苦しい状況でも、互いに声を掛け合い、自分たちの戦い方を最後まで貫き通せて良かった」と5人は振り返った。



全国中学校体育大会第52回全国中学校相撲選手権大会出場
豊里中男子相撲部
(写真後列左から、中澤英秋、齋藤勇希、前列左から、武山吏琥、永谷海翔、江田竜也 全員3年)

「去年の思いを胸に」

9人の若きクルーが全国大会の舞台で奮闘した。昨年の全国大会で予選敗退。涙を流した先輩の思いを胸に、「今年こそ準決勝へ進みたい」と日々練習を重ねた。記録を少しでも伸ばすため、何度もタイムを計り、漕ぐタイミングやフォームを確認し、記録が伸び悩んでいるときには全員で励まし合い準備を怠らなかった。気合十分で迎えた全国大会では、男子シングルスカルで新井が準決勝進出。男子ダブルスカルでは千葉(健)・佐藤(椰)が8位入賞を果たした。入賞した2人は、「幼なじみとペアを組み、結果を残すことができるとてもうれしい。先輩も行けなかった決勝の舞台に立つことができて幸せ」と笑顔で振り返った。その他の6人は惜しくも予選で敗れたが、「最後まで諦めずこぐことができた」と口をそろえた。

「仲間や家族、先生の多くの支えがあったからこそ頑張ることができた」と感謝の気持ちを忘れない9人は、ボート部で学んだ「努力することの大切さ」をそれぞれの進路に生かし続ける。



第42回全日本中学選手権競漕大会出場

佐沼中ボート部

(写真後列左から、伊藤歩夢、佐藤樹生、佐藤壹成、北浦小春、千葉莉鈴、前列左から小野寺来騎、千葉健心、佐藤椰沙、新井瞬 全員3年)

夏に挑む

Zoom Up Tome 2022 Special



第12回全国高等学校女子合同チームラグビー大会出場
木川海 (佐沼高1年)

父親に勧められ、小学生の時からラグビーを始めた木川は日々の練習にひたむきに励んだ。これまでの努力が実り、女子ラグビー東北選抜に選ばれた。自己分析を行い、練習し臨んだ全国大会は育成ブロック2位で幕を閉じた。「男子に負けないような選手を目指す」と今後の成長を誓った。



全国高等学校総合体育大会ボート女子ダブルスカル出場
左から、黒田恵真 (佐沼高3年)
大場日湖 (同2年)

高校からボートを始めた黒田・大場の2人。ひたすらに努力を積み重ね、「自分たちの実力を試したい」と臨んだ全国大会。結果は準決勝まで進むことができた。「周りの人たちの応援や支えがあったから頑張れた」と感謝の気持ちを忘れない。次の国体予選に向け、悔しさを糧に闘志を燃やす。



全国高等学校総合体育大会陸上競技棒高跳出場
浅野廉 (佐沼高3年)

高校最後の年、持ち前の向上心で伸び悩みの壁を乗り越えた浅野。県大会では自己ベストを記録し全国大会出場を決めた。入念に準備をし臨んだ全国の舞台では、強豪たちの記録を超えることはかなわなかったものの、「この経験を大学での陸上に生かしていきたい」とさらなる高みを目指す。



全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会
第38回全国高等学校カヌー選手権大会
登米高カヌー部

(写真左から、羽生多真美、伊藤美空、亀岡なご美、千葉美鈴 全員3年)

「心を一つに最後まで」

このメンバーで臨む最後のインターハイ。気合は十分だったが、新型コロナウイルスの影響により、活動の自粛を余儀なくされた。選手たちは、一刻も早く感覚を取り戻し、インターハイに出場するため一丸となって練習に励んだ。フォームを録画して何度も見返し、互いにアドバイスし合うなど、記録を伸ばすための試行錯誤を繰り返した。迎えた県大会では、積み重ねた努力が実り、シングル、ペア、フォアの3種目で優勝。全国大会では、シングルは羽生、ペアは羽生・千葉、フォアは羽生・千葉・伊藤・亀岡が準決勝まで進出を果たすことができた。4人は「インターハイで優勝をつかむことはかなわなかったけれど、これまでの練習の成果を発揮するため、諦めず最後までこぐことができた。悔しい気持ちはあるが、このメンバーで出場できて良かった」と振り返る。彼女たちはこれから進学、就職と別々の道を歩み始める。将来の夢を実現するため、4人はそれぞれの人生のパドルをこぎ続ける。